

令和3年産 麦類技術情報 第2号

令和3年2月18日

宮城県美里農業改良普及センター

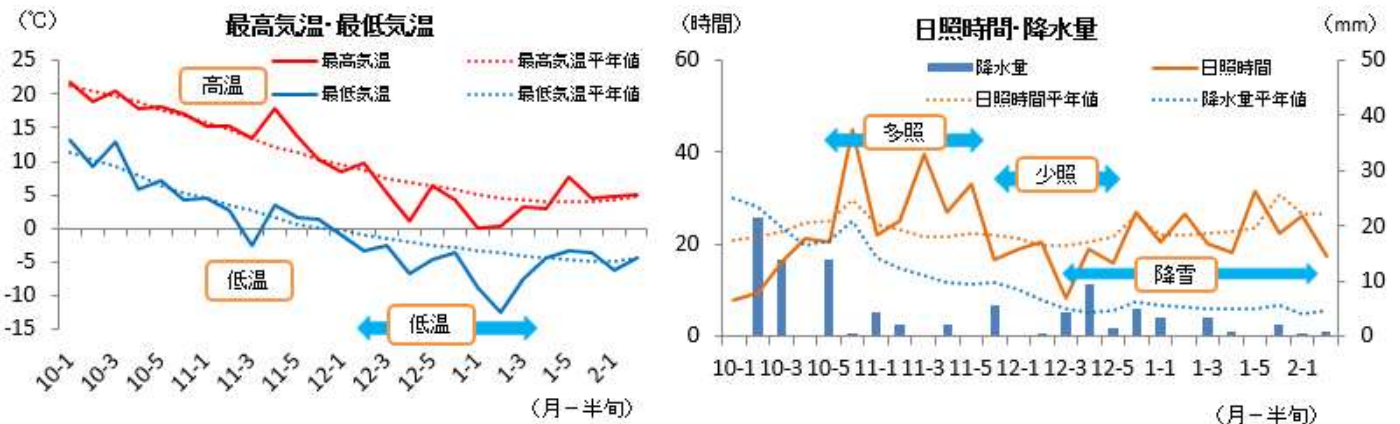
TEL 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



ほ場条件を確認し、積極的な排水対策を実施しましょう！

1 気象経過 (10月第1半旬～2月第2半旬：アメダス鹿島台)



気温は12月第3半旬から低温傾向となり、併せて、断続的な降雪が続いた。日照時間も11月第6半旬以降は平年並みか少なく推移した。2月15日にはまとまった降水(56mm)があった。

2 生育調査ほ生育概況

表 小麦生育調査結果

地区名	地点	品種	播種量 (kg/10a)	条間 (cm)	播種日			12月15日調査						2月10日調査					
								草丈			茎数			草丈			茎数		
					本年値	前年差	平年差	本年値 (cm)	前年比	平年比	本年値 (本/m ²)	前年比	平年比	本年値 (cm)	前年比	平年比	本年値 (本/m ²)	前年比	平年比
大崎市 鹿島台	大迫	シラネコムギ	14	25	10月22日	27日早	13日早	16.3	774%	369%	1468	692%	292%	14.3	190%	176%	2236	731%	366%
涌谷町	猪岡 短台	夏黄金	12	20	11月1日	10日早	7日早	9.1	154%	144%	315	86%	96%	7.1	112%	103%	458	112%	112%

※平年値は過去5か年の平均値を使用(夏黄金は過去3か年)。

10月22日播種のシラネコムギでは、茎数が平年より大幅に増加した。11月1日播種の夏黄金では、茎数が前年・平年並みまで増加した。どちらのほ場も鳥類の食害や土壌の凍み上がりにより草丈は短くなった。

一般ほ場では、10月中に播種したほ場は葉数が進み、茎数を多く確保している。11月上旬頃の播種では分けつが確認できるが、11月中旬以降の播種では出芽はしているものの、分けつ発生に至っていないほ場が多い傾向。さらに、広域で白鳥やガン等鳥類による葉の食害が確認されている。

3 今後の管理について

(1) 排水対策：2/15 の多雨以降、ほ場表面に停滞水が見られます。

- ・過湿条件では、根の伸長抑制や浅根化による分けつ減少、葉の黄化等の障害が発生するため、麦類では排水対策が重要です。
- ・麦踏みや追肥等の作業を適期に行うため、しっかりとした排水対策を実施しておくことが大切です。
 - ⇒明きよを確認し、円滑に排水できるよう手直しをしましょう。
 - ⇒ほ場で停滞水を確認した場合は、早急に排水につなげましょう。

(2) 麦踏み：ほ場条件を整え、茎立ち前までに実施しましょう。

- ・麦踏みは、離乳期（3～4葉期）から茎立ち（主稈長2cm、幼穂長2mm程度）前までに実施しましょう。
- ・生育が再開する起生期（融雪期：平均気温4℃）頃の麦踏みは、生育のバラツキ解消に有効です。
- ・過湿条件での麦踏み作業は逆効果となることがあるので、排水対策などほ場条件を整えてから実施しましょう。

(3) 追肥：広域的に鳥害が発生しています。ほ場を確認しましょう。

- ・地上部が無くなるなど被害が大きい場合、茎数不足の株直し追肥と同様に、穂数確保に向け追肥（窒素成分量で1～2kg/10a）を検討します。鳥よけには吹き流し（2mの支柱に1m×3mの黒マルチ）が有効という事例があります。
- ・今後は追肥の時期に入るので、作業しやすいほ場条件整備やほ場ごとの生育量・生育ステージの確認など、準備を進めましょう。

表 麦類標準施肥体系

施用時期		10月上～中旬 基肥	2月上～中旬 株直し追肥	3月中～4月上旬 幼穂形成期追肥	4月中～下旬 減数分裂期追肥	5月上～中旬 穂揃期追肥
栽培品種	肥料形態		<幼穂形成前> 【葉色の維持】	<幼穂長2～3mm> 【穂数増加】	小麦<幼穂長2～5cm> 大麦<幼穂長2～3cm> 【一穂粒数増加】	<80～90%が出穂> 【千粒重、 タンパク含量向上】
シラネ コムギ	窒素成分量	7～9kg/10a	基本的に 行わない ただし、 越冬前茎数400本/ ㎡以下では、穂数 確保のため追肥を 検討する。	2.5kg/10a	5kg/10a	2.5kg/10a
	肥料現物量	40～50kg/10a (尿素燐加安777号)		5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	11kg/10a(尿素) 24kg/10a(硫安)	5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)
夏黄金	窒素成分量	8～10kg/10a		2.5kg/10a	5kg/10a	5kg/10a
	肥料現物量	50～60kg/10a (尿素燐加安777号)		5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	11kg/10a(尿素) 24kg/10a(硫安)	11kg/10a(尿素) 24kg/10a(硫安)
ホワイト ファイバー	窒素成分量	8～10kg/10a		2.5kg/10a	2.5kg/10a	—
	肥料現物量	50～60kg/10a (尿素燐加安777号)		5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	5.5kg/10a(尿素) 12kg/10a(硫安)	— —

注) 基肥欄の尿素燐加安777号は現物肥料の一例。追肥欄の尿素と硫安はどちらかを施用。